

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月27日		記入者		連絡先 2794
部 名	経済部	課 名	農林課	課長名	宮崎孝司
事務事業名	新都市農業推進事業				
予算上の事務事業名	新都市農業推進事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		31520		
基本目標	Ⅲ「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第1章 立地特性を生かした産業の振興をめざします				
基本施策名	第5節 都市農業の振興				事業開始年度
施策名	第2施策 特色ある都市農業の推進				平成16年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
3 個別計画の概要					
計画名	新都市農業推進計画		概要 本市農業を取り巻く環境の変化や時代の潮流に的確に対応し民間活力導入の観点から「新たな農業施策」を進めるための実行計画		
計画年次	16	年度～	22	年度	
4 事業形態の区分	計画の策定・推進 ▼				
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)			(2) 対象 (誰、何)		
市内の農業振興地域全体を「新都市農業公園」とする考えのもと、市域全体で市民や民間主体の「地産・地発・地工・地消(商)」の農業の取組みを促進する仕組みづくりを行う「相模原市新都市農業推進計画」の実現化を図るもの。 事業は、民間活力の導入を図る観点から、インキュベーション(孵化)事業、実験的事業・パイロット事業を中心に行うこととする。			一般市民・農家・JA・商業者・大学等関係機関		
(3) 平成17年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
【アグリセンター事業】アグリセンター事業用地として587㎡を先行取得し、バイオマスフロンティア事業用地及び駐車場用地として暫定的な整備を行った。(駐車台数：10台～コミュニティ農園利用者が使用) 【バイオマス・フロンティア事業】(10月～3月/委託事業)第2次実証実験として、食品残渣を原料とした飼料を豚に給餌し、発育状況や肉質、食味、成分等について比較した。 肥育頭数24頭(8頭×3区分) 【フラワーガーデン事業】(6月～1月/委託事業)未利用・荒廃農地の土壌回復と農地としての修景を図るため、当該農地に花を咲かせるもの。耕うん～播種～管理指導までの作業を行った。 【北里大学関連事業(アグリテクニカル・メディカル創造事業関連)】6月に北里大学と「新都市農業推進協定」を締結し、薬用植物に関するシンポジウム、セミナーを開催するとともに、新たな農業ビジネスの企業化について検討を行った。					
6 関連・類似事業や他市の状況					
・新都市農業推進計画は、「地域再生計画」として認定を受けている。(平成16年度) ・新都市農業創出特区は、構造改革特区法の改正等により本市が実施している特区の内容が全国展開された。これを受け、引き続き同等の効果が得られるよう、関連計画等の見直しを実施し、環境を整えた。					
7 事業費の推移 <span style="float: right;">〔単位：千円〕</span>					
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	0	2,820	54,612	19,859	17,800
一般財源	0	2,820	54,612	19,759	17,700
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	100	100
人件費の合計	0	48,420	56,490	32,280	32,280
事業コスト合計	0	51,240	111,102	52,139	50,080
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	バイオマス・フロンティア事業 (学校給食残渣飼料化実証事業)			対象名称 と単位	実証実験における豚の 肥育頭数(頭)
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	0	283	889	15,993	15,561
対象数	0	24	24	24	48
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	11,792	37,042	666,375	324,188
前年度比		#DIV/0!	3.14	17.99	0.49

9 活動指標・・・実施した内容(活動)を数値化したもの					
指標名と単位	事業着手率 (%)	指標式と指標の説明		新都市農業推進計画の事業のうち、着手した事業の割合で事業全体の進捗率を表す。[着手済/12事業]	
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(目標)
実績	0.0	58.0	58.0		
目標	0.0	50.0	67.0	75.0	100.0
目標達成度 (%)	#DIV/0!	116.0	86.6		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	農業関連事業への新規参入者数	指標式と指標の説明		新都市農業推進計画に基づき、農業関連産業に参入する者の数により、効果を測定する。(累計)	
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(目標)
実績	0.0	1.0	1.0		
目標	0.0	1.0	2.0	3.0	4.0
目標達成度 (%)	#DIV/0!	100.0	50.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
B	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
有	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価(一次評価)					
(1) 自動判定結果					
★★	[★★★★] : 良好な状態を維持する事業				
	[★★★] : 概ね良好な状況である事業				
	[★★] : 見直しを行う必要がある事業				
	[★] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		新都市農業推進計画は、事業の推進主体を第3セクターとしているため、自動判定結果が「見直し」となるが、計画の進捗は良好であり、今後更に充実すべきであると考えている。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
・関係機関との連携を深め情報収集に努める ・早急に事業の実施主体となる第3セクター等を設立する。なお、3セクの設定に当たっては、独立採算の確保を基本として設立目的及び事業内容の精査を行うとともに、事業収支や事業の形態(自主事業・委託事業等)についても充分検討する。			第3セクターの設立に併せ、新都市農業推進計画における事務事業及び農林事務の精査を行ない、必要に応じて事業のアウトソーシングを行う必要がある。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		農業を取り巻く環境の変化等を踏まえ、必要に応じて計画を見直すなどして、事業を推進する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			